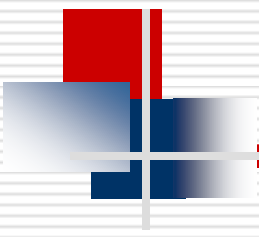


観光と公共交通円卓会議

<第2回観光活性化分科会>

2011年11月10日



1.観光活性化分科会での 検討内容について

観光活性化に向けた検討内容

(1) 観光拠点としてのエコパーク活性化策

国内外の人々が訪れるエコパークの整備策、およびその周辺観光資源の活性化策を提案する。

例えば…エコパーク内移動手段や、新駅の設置、周辺観光資源との一体的な活用方法等

(2) 肥薩おれんじ鉄道の観光利用促進策

観光・交流人口を増やす上で、交通手段として重要な役割を担う、肥薩おれんじ鉄道の観光利用促進策について提案する。

例えば…デザイン車両・新車両導入や、車両以外の観光利用促進策、九州新幹線との連携策等

(3) 環境首都水俣ならではの着地型観光の推進策

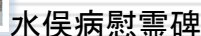
環境首都水俣ならではの着地型旅行商品化に向けて、そのコンセプトや旅行商品としての素材を整理する。

例えば…着地型観光のコンセプトやメニュー内容となる地域の観光資源について整理や評価等

- ◆ エコパークおよびその周辺には、バラ園、竹林園、道の駅みなまた、親水護岸、水俣病資料館、恋路島など、多くの観光資源がある。
- ◆ 公園内で楽しめる移動手段としてレールバイク、サイクルステーションなどを整備することで、それらの観光資源が、一体となって相乗効果を発揮し、エコパークが全体として、より魅力のある広域的な集客拠点となることを目指す。
- ◆ さらに、交通アクセスの課題解決として、鉄道の新駅設置の効果を検証する。



竹林園



(2) 肥薩おれんじ鉄道の観光利用促進策の検討

- ◆ 肥薩おれんじ鉄道を、地域住民や観光客の交通手段としての利用にとどまらず、九州新幹線の全線開通を踏まえ、イベント列車や観光列車など、水俣観光における主要な観光資源として活用する。
 - 地域の他の観光資源と連携した観光・イベント列車の企画検討
 - 観光列車、イベント列車以外の観光利用促進案の検討 など
- ◆ 肥薩おれんじ鉄道の協力を得て、調査検討を行なう。また、地域の他の観光資源との連携企画に関しては、当該地域資源の担当者の協力も得ながら、企画及び検討を行う。



水俣市内を走る肥薩おれんじ鉄道



台湾からの団体客を乗せた観光列車



(参考)くまがわ鉄道の観光列車KUMA

(3)環境首都水俣ならではの着地型観光の推進策検討

- ◆ 水俣にある豊かな自然や里山の景観(棚田等)、地域の歴史文化、地元の食材、生活文化の体験などを、観光資源として改めて整理・把握する。
- ◆ また、今後の観光商品の開発に向けてより市内の観光資源全体としての魅力を高めるための検討を行う。
- ◆ 具体的には、環境首都水俣ならではの観光資源として、ストーリー性を持たせる事などが考えられる。
- ◆ なお、今後の商品化に向けた検討では、観光・交流人口を増やすこととともに、観光客がお金を地域に落とす(消費する)受け皿を作ることの両方に留意して取り組むこととする。

※着地型観光…地域資源を活用し、地域自らが企画する観光旅行。大手の旅行会社等が企画する既存の発地型観光との対比で用いられる言葉。体験・交流・学習を主な観光目的とし、旅行会社にとっては新たな商品として、地域にとっては交流による地域活性化策として期待されている。

(昨年度のみなまた環境まちづくり研究会報告書での「エコ²観光」にあたる)

ステップ1

着地型観光素材の
特定(選出)
ターゲット顧客の
ニーズ把握

ステップ2

観光素材をニーズに
合わせ、観光商品プ
ランを策定

ステップ3

観光商品の販売手段、
誘致戦略の策定

(3)環境首都水俣ならではの着地型観光の推進策検討

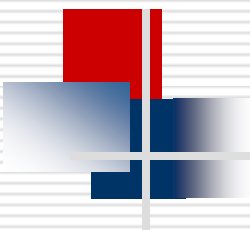
◆ 着地型観光資源の整理・把握方法

1. 円卓会議の場等において、来年度以降の商品化に向け、円卓会議の参加者より、地域内の観光資源(素材)を挙げていただき、棚卸しを行う。(観光資源の棚卸しシート参照)

2. 挙げられた観光資源について、事務局で整理した上で、専門家に現地を見ていただき、観光資源としての現状の価値、及び可能性について評価していただく。(観光資源の評価シート参照)

3. 円卓会議の場で、今後の観光商品の開発に向けて、有識者委員からの評価及び改善点のアドバイスをいただき、観光商品のメニューを検討する。





(参考)観光資源棚卸しシート

【水俣地域の観光資源の棚卸しシート】

1. 水俣市内(及び周辺で)あなたが皆に見てもらいたいと思う場所はどこですか？その理由と、もっとよくするためにはどうしたらよいかについてのお考えをご記入下さい。

場所	理由・魅力・ポイントなど	もっとよくなるためには？

(参考)観光資源の評価シート(案)

【観光資源評価シートの例】

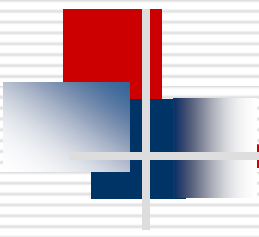
観光資源(素材)	評価(4段階)	改善を要する点(複数回答可)	評価コメント
	★☆☆	☐ 交通アクセス ☐ 外観 ☐ 内装 ☐ 清潔感 ☐ 予約・申し込み ☐ 接客・対応(おもてなし) ☐ サービスの種類。メニュー ☐ 料理の味	観光資源としての魅力について
	★★★	☐ その他()	観光資源としての改善点について

☆☆☆:観光資源にならない

★★★:改善に取り組めば観光資源になりうる

★★☆:観光資源となりうる

★★★★:魅力的な観光資源である



2.観光活性化分科会の 今後の進め方について

着地型観光の推進策検討プロセス

検討テーマ
事務局作業

第2回円卓(11/10)

- 観光資源の認識共有
- エコパークに関するニーズ把握

認識・ニーズの
集約化

- 観光資源の評価用資料作成
- エコパークの現状分析・コンセプト整理・住民ニーズの把握・課題抽出

第3回円卓(11/29)

- 評価対象として選出された 観光資源の概要説明
- エコパークのコンセプト共有
- エコパークに関する課題の認識

専門家による観光資源
の評価(現地調査)

- 観光資源の評価とりまとめ、(対象・予約方法別等に分類)
- エコパークの課題と対応策のとりまとめ
- 他地域の事例分析

第2回合同会議(12月11日)

第4回円卓(1月中旬)

- 観光素材の選定・魅力向上策の検討
- エコパークの課題への対応策(魅力向上策)に関する検討

観光商品メニューへ
の助言

- 観光商品コンセプト及びメニュー案の作成・販売方法等に関する資料作成
- エコパークの魅力向上策及び実現可能性検討
- エコパーク新駅の効果分析

第5回円卓(2月中旬)

- 観光商品メニューおよび販売方法の検討
- エコパークの活性化策・時年度への課題の検討

観光商品、エコ
パーク活性化に関
する地元意見の
集約

観光商品開発、お
よびエコパーク活
性化策実施に向けた
次年度の課題整理

円卓会議

有識者委員

水俣市および価値総合研究所